

第247回岡山県内水面漁場管理委員会
議事録

令和5年12月18日（月）

【第247回岡山县内水面漁場管理委員会】

1 日 時 令和5年12月18日（月）13時30分～14時26分

2 場 所 ピュアリティまきび
岡山市北区下石井2-6-41

3 出席者

[委 員]

会 長	加藤 卓夫		
副 会 長	友保礼次郎		
委 員	小上 廣	高野 宏	
	畠山 洋子	三村 聚	
	山野井英夫	米澤 正治	
		計8名	

[水産課]

水産課長	石飛 博敏	総括参事	濱崎 正明
主 幹	弘奥 正憲	主 任	村山 史康

[事務局]

事務局長	丹羽 直樹	副 参 事	古村 振一
------	-------	-------	-------

4 審議事項

第1号議案 令和6年度における第5種共同漁業権魚種の増殖指示量について

(結果) 原案どおり指示することを決定

報告事項

①令和4年度岡山县内水面漁協実態調査結果について
②資源管理の状況等の報告について

5 内 容

【丹羽局長】

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から第247回岡山県内水面漁場管理委員会を開催させていただきます。

本日の出席委員は8名で、過半数の委員出席となっておりますので、漁業法第145条第1項の規定により、この委員会は成立しておりますことを御報告申し上げます。

それでは、加藤会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。

【加藤会長】

議事に入ります前に、議事録の署名委員を指名させていただきます。畠山委員、山野井委員よろしくお願ひします。

それでは、議事に入ります。第1号議案「令和6年度における第5種共同漁業権の増殖指示量について」でございます。この件につきましては、前回、前々回の委員会で議論をしていただき、結論に至った経緯があります。それでは事務局から説明をお願いします。

【古村副参事】

(令和6年度における第5種共同漁業権魚種の増殖指示量について説明した。)

【加藤会長】

ありがとうございました。この資料については前回、前々回の委員会で議論をしていただいた内容のとおりとなっております。今、説明を受けた件につきまして、何か御意見、御質問等がございましたらお願いいたします。

【山野井委員】

代替措置のある3種について、算出根拠の説明をお願いします。

【濱崎総括参事】

資料を持っていないので、改めて報告させていただきます。

【山野井委員】

ソダの大きさ等の規定はあるのですか。指示量の備考の産卵場造成（はえ、てながえび）の造成基準に「約」が入っているが、いらないと思います。

【石飛課長】

大きさの基準はないですが、漁業者が使用している一般的な大きさのもので、細かい基準は決めていません。

【濱崎総括参事】

はえ、てながえびの産卵場造成については、「約」を外します。

【加藤会長】

それでは、はえ、てながえびの産卵場造成については、「約」を外します。他にありませんか。

ハエの産卵場造成の取組は、多くされているのですか。

【濱崎総括参事】

されています。河川工事に合わせて、重機で行われている場合が多いと聞いています。

【友保副会長】

ハエの種苗は、入手できません。

【加藤会長】

他にないようですので、第1号議案「令和6年度における第5種共同漁業権魚種の増殖指示量について」お諮りいたします。お手元の資料の4ページに増殖指示量の案を付けておりますが、原案どおり決定してよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【加藤会長】

それでは、第1号議案「令和6年度における第5種共同漁業権魚種の増殖指示量について」につきましては、原案どおり決定いたします。

続きまして、報告事項の1「令和4年度岡山県内水面漁協実態調査結果について」事務局から説明をお願いします。

【古村副参事】

(令和4年度岡山県内水面漁協実態調査結果について説明した。)

【加藤会長】

ただ今、説明を受けた件につきまして、何でもいいので何か御意見、御質問等がございましたらお願いいたします。

【山野井委員】

遊漁者の数は、どのようにして算出しているのですか。年券のみではなく日券を複数回買う遊漁者もいると思いますが。

【古村副参事】

年券、日券の延べ人数となっております。

【米澤委員】

漁協によって異なっているとは思いますが、放流実績によって漁獲量がどのように変わったのかを分析したことはあるのですか。

【友保副会長】

集計の方法は、各漁協に任せられているため、漁協によって集計の方法が異なっています。私のところでは、漁獲量は釣り人にヒアリングをして集計しています。

【石飛課長】

アユの放流実績の推移と漁獲量の推移を見る限り相関があるとは思えません。漁獲量は採捕者数や漁場環境等多くの要因によって左右されるため、放流量が明確に漁獲量に反映する状況ではないと思われま。

【三村委員】

コイは放流実績はないですが、漁獲量には入っています。

【濱崎総括参事】

コイヘルペスの関係で放流は自粛していますが、漁獲はされています。

【三村委員】

河川等にはコイが生息しているということですか。採捕者もいるのですか。

【濱崎総括参事】

河川でもコイが採捕されていて、少数ではありますがファンの方がいるようです。

【加藤会長】

遊漁者の減少はよく聞いてます。しかし、このグラフを見ると組合員数は年々減少していますが、遊漁者数はそこまで減少していないようですが。

【友保副会長】

このグラフを見るとそのように見えますが、その時の釣果次第で、遊漁者数は増減します。最近SNSですぐ情報が拡散され、釣れるとなると多くの遊漁者が来ますが、釣れなくなると3日も経つと誰もいなくなります。

【高野委員】

遊漁料の推移で、旭川水系の遊漁料が令和になってから上がっていますが、その要因は何かありますか。

【濱崎総括参事】

湯原漁協が、フライ専用区を開設してキャッチアンドリリースを推奨していて、人気となっています。メディアに取り上げられ全国的なPRとなって、遊漁者が増加したのではないかと思います。

【加藤会長】

湯原漁協のフライ専用区の試みが、他の漁協への波及はあるのですか。

【濱崎総括参事】

今のところありません。湯原漁協管内は温泉もあり、漁場の管理も行き届いています。また、フライを行うにはある程度川幅も必要なことから、場所が限られるのではないかと思います。

【友保副会長】

増殖指示量は、漁協に何日付で発送されますか。

【古村副参事】

岡山県公報掲載が12月26日となりますので、それ以降の発送になる予定です。

【加藤会長】

続きまして、報告事項の2「資源管理の状況等の報告について」説明をお願いします。

【村山主任】

(資源管理の状況等の報告について説明した。)

【加藤会長】

資源管理の状況報告は様式はどうなっていますか。

【濱崎総括参事】

漁業法施行規則に資源管理の状況等の報告の記載事項が定められていますので、漁協にこの内容で記載するように求めております。委員会が行う実態調査

の様式とほぼ同じですが、操業日数は資源管理の状況等の報告にしかありません。

【加藤会長】

操業日数は、実際漁場に行って操業した日数ですか。

【濱崎総括参事】

そうです。しかし、漁協によって集計の方法が異なっていますので、統一的なものではないと思います。

【加藤会長】

他に御意見、御質問がないようですので、以上で議事は終了しますが、事務局から何かありますか。

【古村副参事】

ありません。

【加藤会長】

それでは、これもちまして第247回岡山県内水面漁場管理委員会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

終了時刻：14時26分

上記のとおり議事の顛末を記し、事実と相違ないことを証する。

令和5年12月18日

会 長

議事録署名委員

議事録署名委員
